

《 発表資料 》

2005年12月6日
日本経済新聞社

「ソフトバンク」の指数算出上の取扱いについて

日本経済新聞社は、日経平均株価の構成銘柄である「ソフトバンク(9984)」が予定する株式分割(1株を3株)には、みなし額面の変更で対応することとします。

株式分割の権利落ち日である今年28日以降、ソフトバンクのみなし額面を分割比率に合わせて現在の50円から、その3分の1相当額に変更します。(28日以降は、同銘柄の株価を3倍した値が指数算出に用いられることを意味します)

本年6月7日付け公表の「大型の株式併合に対する措置」に準じた取り扱いであり、大幅な株式併合や株式分割に対しては、指数算出に用いる株価の水準がその前後で変わらないようにみなし額面の変更で調整するものです。したがって、この株式分割に伴う除数変更は発生しません。日経500種平均株価も同様に対応します。

以上